

【別紙様式】

課題名：果樹産地を担う新規農業者の育成

所属名：北薩地域振興局農政普及課出水市駐在
発表者名：帖佐 真一郎

＜活動事例の要旨＞

指導農業士会、市町、農協と連携し、就農相談や経営計画作成、研修会等を通じ、支援を行った。研修内容について、モデル農家で取り組み、その事例についてもその後の研修会でシェアしたり、果樹に関する基礎技術や指導農業士からの経営発展事例研修を組み合わせで行い、新規就農者の資質向上、定着を図った。

1 課題の背景とその目標

- (1) 出水地域は県内有数の果樹産地である。不知火やなつみかん、温州みかん等の柑橘の県内生産量に占める出水管内の割合は高い。（※温州みかん：68.4%，なつみかん：99.4%，不知火：75.4%）※果樹生産統計資料（令和2年産実績）
- (2) 新規就農者の経営する品目、出荷団体は多岐にわたる。
- (3) 担い手の高齢化と減少により、今後、出水地域の担い手育成が急務である。
- (4) 非農業系の業種からのUターン等の場合、基礎的な農業技術から必要である場合もあるので、研修の必要性が高い。
- (5) 営農に必要な機械・施設、土地などは、取得する必要がある場合が多いと想定されるため、多額の自己資金と初期投資のための資金借入が必要となる場合が多い。経営計画作成支援を行い、取り組むべき事項やタイミングを検討することが必要である。

2 普及指導活動の内容

(1) 活動の経過

ア 支援方法の検討

管内市町及び農協で組織する園芸振興協議会で支援内容、対象について検討し、支援案を作成し、指導農業士と調整を行った。

イ 技術・経営研修の充実

指導農業士会と連携し、基礎研修や実証技術の紹介、指導農業士等による経営発展事例研修を実施した。

新規就農者は、担い手の後継者、兼業農家子弟、Uターン（非農業系）で就農した農家子弟など環境や必要なことが異なるため、研修会は①かんきつを始めとする果樹の生理生態と基本技術といった基礎研修、②現地課題の対策技術実証の状況説明・波及や栽培技術の実地などの現地研修、③指導農業士等の篤農家から経営発展のターニングポイントになった事項について取り組んだきっかけや困ったことなどの事例紹介や新技術情報などを行う全体研修を組み合わせ、必要な部分に参加できるような研修を行った。

ウ モデル農家の育成

研修により動機付けや課題整理を行い、改善技術について、個別に実証ほを実施して支援した。取組事例については、新規就農トレーナー研修で、シェアした。

エ 経営計画作成支援

就農トレーナー研修において経営計画の必要性について研修し、理解を促した。



現地研修（せん定）



指導農業士の取組事例研修

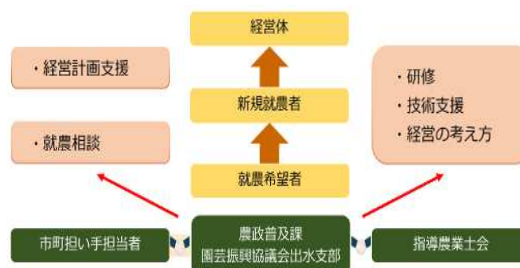


経営計画作成検討

新規就農、市町担い手担当と連携をとり、経営計画作成支援を行い、課題について検討し、長期・短期の目標設定を行った。

(2) 指導・支援の体制

就農相談や新規就農者の経営支援については、市町と普及が連携し、対応にあたっている。研修については市町、農協と組織する園芸振興協議会と指導農業士会が連携し、企画実施している。



3 普及指導活動の成果

(1) 目標の達成状況とその要因

ア 支援方法の検討

市町果樹・新規就農担当や農協担当者等と活動検討を行った。就農相談に対し、市町担い手担当者と支援制度等について紹介し、必要に応じ、相談者・普及・市町で就農計画作成支援を行った、指導農業士会と連携し、経営・技術研修など支援につなげた。

イ 技術・経営研修内容の充実

基礎研修では、時期ごとの管理や生理生態について研修し、それぞれの生産部会での研修の理解度向上や管理作業で役立つ目的で実施した。また、指導農業士の体験談や経営の考え方などについて話をしてもらうなど研修内容の充実に努め、研修後には研修の理解度、希望する内容等についてアンケートをとり、次回の研修に活かすなど努めた。また、生産出荷団体を越えた新規就農者間、指導農業士等との交流を図る場にもなるなど工夫し、研修出席者が増加した。



ウ モデル農家の育成

各品目ごとに課題となっている事項について、改善に向けての取り組みを支援した。3品目7事例について支援し、展示会場として研修で用いて、実地研修や技術の理解促進や取組内容についてシェアした。

エ 経営計画作成支援

経営計画の必要性について研修し、市町担い手担当者と連携し、決算書や出荷実績等を用いて経営計画作成・課題検討を行い、9戸の経営計画の作成した。

経営計画作成数

年度	R3	R4	R5
作成数	1	3	5

(2) 活動に対する生産者・農家の評価

「基礎から学べる良い機会」「参考になった」「これからも参加していきたい」などの研修会のあり方については、概ね前向きな意見が多かった。

(3) 地域農業振興への貢献

定期的に新規就農者研修を行い、新規就農者同士や指導農業士との交流が図られた。また、北薩管内の他地域の青年農業者と合同で研修を行い、情報交換や交流も図られた。

4 今後の普及指導活動に向けて

- ・支援の重点化と関係機関と連携した定期的な支援
- ・経営計画作成支援
- ・改善技術・取組についての共有
- ・モデル農家の育成